



平成 20 年 3 月 14 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役会長兼社長
ディー・ジー・ワスコム
(コード番号: 東証一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

親会社等に関する事項について

1. 親会社の商号等

平成 19 年 12 月 31 日現在

親会社等の商号又は名称	属性	親会社等の議決権所有割合(%)	親会社等が発行する株券が上場されている証券取引所等
エクソンモービル有限会社	親会社	50.6	該当なし
エクソン モービル コーポレーション	親会社	50.6	ニューヨーク証券取引所

- (1) エクソン モービル コーポレーションは、子会社を経由して間接的にエクソンモービル有限会社に 100%出資している当社の親会社の 1 つですが、当社とエクソン モービル コーポレーションの間に重要な取引関係はありません。
- (2) エクソン モービル コーポレーションの議決権所有割合は、すべてエクソンモービル有限会社を経由した間接所有割合です。
- (3) エクソンモービル有限会社の当社発行済株式総数に対する株式保有比率は 50.02% です。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと考えられる会社の名称およびその理由

名称	理由
エクソンモービル有限会社	直接的に、当社の過半数の議決権を有しており、かつ、下記「3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、その他の上場会社と親会社等との関係」に示すような広範囲にわたる人事関係、取引関係を有している。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、その他の上場会社と親会社等との関係

エクソンモービル有限会社および当社を含むエクソンモービル・ジャパングループ各社はグループの事業形態として機能別組織を採用しています。

この組織の目的は、グループとしてのスケール・メリットによる経済性の向上、グループ各社横断的な相乗効果の実現、そして全世界のエクソンモービルが有するベスト・プラクティスの迅速な導入とその実行にあります。当社とエクソンモービル・ジャパングループ関連会社との主な関係は以下の通りです。

- 当社は、エクソンモービル有限会社に対し、両社の間で締結した石油製品の供給引取契約に基づき、石油製品を供給しています。
- 当社は、エクソンモービル有限会社との間で契約を締結し、同社の石油製品に係わる特定の物流業務を受託しています。
- 当社は、エクソンモービル有限会社との間で包括的サービス契約を締結し、当社の販売業務及び管理統括事務を委託しています。
- 当社は、海外のエクソンモービル関連会社と原油、石油製品及び原材料の供給、役務提供および技術援助に関して提携しています。
- 当社の子会社である東燃化学株式会社は、エクソンモービル有限会社との間で代理店契約を締結し、同社を販売と物流業務を行う総代理店として起用しています。
- 当社の取締役 4 名は、エクソンモービル有限会社の取締役を兼務しています。
- 当社は、エクソンモービル有限会社より本社精製・供給部門、油槽所、各工場に 95 名の出向者を受け入れています。一方、グループ内の人事交流促進のために、当社からも 291 名の従業員がエクソンモービル有限会社のサービス・管理部門や販売部門に出向しています。(平成 19 年 12 月末現在)
- 当社は、エクソンモービル有限会社および他のエクソンモービル・ジャパングループ各社と緊密な協力関係を保ちながら、効率的に事業を展開しています。
- エクソンモービル有限会社の兼務取締役の就任状況や出向者の状況は当社としての独自の経営判断を妨げるものではありません。当社の最大利益のために適切な意思決定が行われるべく、経営の独立性と独立したガバナンスシステムを確立しています。

(役員の内兼任状況)

平成 19 年 12 月 31 日現在

役職	氏名	親会社等での役職	就任理由
代表取締役会長兼社長	D.G.ワスコム	代表取締役社長	「精製・供給部門」、「販売部門」の両部門においてグローバルレベルの豊富な経験を有しており、当社の代表取締役会長兼社長として適任であると考えられるため
代表取締役副社長	鈴木 一夫	取締役	会社業務全般に深い識見を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため

取締役	W.J.ボガティ	代表取締役副社長	国内外の「財務・管理部門」を中心に深い識見を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため
取締役	宮原 佳典	取締役	「販売部門」における深い識見を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため

(出向者の受入れ状況)

平成 19 年 12 月 31 日現在

部署名	人数	出向元	受入れ理由
本社精製・供給・物流部門等	73 名	エクソンモービル有限公司	エクソンモービル有限公司従業員が有する業務ノウハウの活用とグループ内の人的交流促進の一環
工場（川崎・和歌山・堺）	22 名	エクソンモービル有限公司	同上

4. 親会社等の取引に関する事項

平成 19 年 12 月期(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日、連結ベース)

属性	会社名	住所	資本金 (又は 出資金) (百万円)	事業の 内容	議決権の 被所有割合 (%)	関係内容		取引内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)	
						役員の 兼務等 (人)	事業上の 関係					
親会社	エクソン モービル 有限公司	東京都 港区	50,000	石油製品 の販売	直接50.6	兼任 4	石油製品 の購入・ 販売・役 務の提供 及び資金 取引	営業取引	石油製品の 販売	1,629,098	売掛金	341,166
									石油製品の 購入	237,026	買掛金	77,916
									役務の提供	9,132	未収入 金	1,422
										14,555	未払費 用	2,065
							営業外 取引	支払利息	1	短期 貸付金	99	

(注記)

- エクソン モービル コーポレーションは、子会社を経由して間接的にエクソンモービル有限公司に 100%出資している当社の親会社の 1 つであるが、当社とエクソン モービル コーポレーション間に重要な取引関係はない。
- 取引条件ないし取引条件の決定方針等
 - ① 石油製品の販売及び購入価格は、市場価格によっている。
 - ② 未収入金及び未払費用は主に、「AMENDMENT AND RESTATED AGREEMENT FOR COMPREHENSIVE ADMINISTRATIVE SERVICES」に基づき、当社が負担または請求すべき金額である。
 - ③ 資金取引における金利は、当親会社が金融機関より適用されている金利と同金利を適用する。
- 上記の金額のうち、期末残高には消費税等が含まれており、取引金額には含まれていない。

以上